

# 遊離ハロゲン試験紙 (MN90603)

## 取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

### 《取扱上の注意》

1. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。指示薬により皮膚に炎症を起こす恐れがあります。
2. 測定後の試験紙の変色は、時間経過によって変化する場合があります。

### 《使用法：溶液中の塩素 (Cl<sub>2</sub>)》

1. 必要数の試験紙をプラスチックケースから取り出し、残りはすぐに蓋を閉めます。
2. pH5～7 に調整したサンプル溶液を試験紙に1滴滴下します。
3. 塩素 (Cl<sub>2</sub>) の存在で黄色試験紙に青色のスポットが、少量の場合は青色のリングが現れます。高濃度の塩素が存在する場合は試験紙の変色が数秒で退色するため、直ちに判定を行います。  
※検出限界：1mg/L の Cl<sub>2</sub>

### 《使用法：空気中の塩素 (Cl<sub>2</sub>)、臭素 (Br<sub>2</sub>)、ヨウ素 (I<sub>2</sub>)》

1. 必要数の試験紙をプラスチックケースから取り出し、残りはすぐに蓋を閉めます。
2. 蒸留水で湿らせた試験紙を空気に曝します。
3. 塩素 (Cl<sub>2</sub>)、臭素 (Br<sub>2</sub>)、ヨウ素 (I<sub>2</sub>) の存在で黄色試験紙は青色に変色します。

### 《妨害》

亜硝酸イオン (NO<sub>2</sub><sup>-</sup>)ではなく、亜硝酸 (HNO<sub>2</sub>)も変色反応を示します。溶液にアミドスルホン酸を加えて妨害を除去します。

### 《後始末》

使用後の試験紙や廃液は絶対に下水へ流さず、各自治体の条例に従い廃棄してください。

### 《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は使用期限に関わらず速やかに使用してください。